

第5回土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

1 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり

(1) 土淵地区のまちづくりについて

平成30年5月22日に開催した「土淵地区まちづくり懇談会」では、地域から「土淵地区の均衡ある発展計画」を明らかにし「新駅の設置」、「交通対策」及び「上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用」を進めることについての要望が寄せられました。

要望項目	要望の内容
新駅の設置	新たな拠点としての前潟地区への新駅の設置。これに併せた駅前広場、駐輪場等の整備
交通対策	通過交通が多く渋滞が発生している状況を踏まえ、渋滞緩和・安全確保を図る観点からのJR田沢湖線北側の都市計画道路等の整備
土地区画整理事業跡地の土地利用	「まちづくり」の観点からの土地利用や地域振興の具体化

(2) 地域要望に基づく「まちづくり」への取組について

市は、上記(1)の地域要望について、各般の地域課題の解決や「盛岡市都市計画マスタープラン」に掲げる土淵地区のまちづくりの実現のために必要な取組であると考え、平成30年11月、31年1月及び令和元年5月に「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」を開催するなど、地域と各事業の進め方等について意見交換を行ってきました。

今後においても、この懇談会等を通じて地域との対話を重ねながら、土淵地区のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていきます。

※ 「盛岡市都市計画マスタープラン」は、地域別のまちづくりの方向性を示しており、この中で、土淵地区については『ふるさとの懐かしさが感じられる賑わいのあるまちづくり』を目標とし、「① 次の世代につなぎたい快適な住環境づくり」、「② 活気とふれあいのあるコミュニティづくり」及び「③ 安全安心で使いやすい交通施設の充実」をまちづくりの基本方針としています。

2 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくりメニュー

新駅の設置、これに伴う新たな拠点の創出、上厨川地区（土地区画整理事業跡地）のまちづくり計画の策定など、まちづくりの取組を複合的に進め、地域の相乗的な活性化を目指します。

(1) 前潟駅の新設

① 目的

新駅設置により、駅周辺の賑わいを創出し、地域拠点化し求心力を高めます。また、新駅を中心とするバスルートを検討し、鉄道と連携した公共交通網を形成します。

② 実施予定

前潟地区にJR田沢湖線の新駅を設置し、令和5年の開業を目指します。駅ホーム、駅舎、駅前広場（駐輪場、降車場、タクシーのりば）などの整備を進めます。

(2) 交通対策

① 目的

道路網・交通安全施設の整備を進め、渋滞の緩和と安全対策を強化します。

② 実施予定

ア 都市計画道路の整備

令和3年に策定した都市計画道路整備プログラムに位置付けた「新道篠木線」について、早期着手を目指します。

イ 通学路の安全確保

土淵小学校通学路の安全確保として、引き続き、市道西青山一丁目上厨川2号線への歩道設置を行い、令和5年度の事業完了を目指します。

ウ (仮称)北バイパスの整備

国道46号から北に向かう(仮称)北バイパスの整備について、滝沢市と連携し、国に対し整備要望を行います。

(3) 上厨川地区(土地区画整理事業跡地)のまちづくり

① 目的

国道46号や東北自動車道など交通の要衝に隣接する地域の特色を活かしたまちづくり計画を策定します。

② 実施予定

ア 「まちづくり計画」の策定

地区全体のゾーニング設定など「上厨川地区のまちづくりを考える会」と協力し、検討を進めます。

イ 廃棄物エネルギーの利活用による地域振興

盛岡広域8市町の既存6施設の更新施設として、環境への影響の低減に関し最新の技術が採用され、エネルギー(電気・熱)の供給機能や、地域防災拠点の機能を備えた廃棄物処理施設(焼却施設)の整備を進めます。併せて、地域の振興・発展に貢献するエネルギーの利活用について、引き続き、地域の意見を聴きながら検討を進めます。

◇ まちづくりメニューごとの市の担当部署

まちづくりメニュー	市の担当部署	連絡先	
前潟駅の新設、交通対策	建設部交通政策課	019-613-8538	
	建設部道路建設課	019-613-8549	
上厨川地区のまちづくり	「まちづくり計画」の策定	都市整備部市街地整備課	019-639-9056
	廃棄物エネルギーの利活用	環境部ごみ処理広域化推進室	019-613-8146

【お問合せ先】 盛岡市市長公室広聴広報課 ☎019-626-7517(直通)
※ お問合せの内容により、担当の部署へ御案内します。